# 建設機械事業

建設機械事業は、道路・橋梁などの社会インフラや高層ビル・戸建て住宅の基礎工事に使われる基礎施工機械を製造・販売しています。特に主力製品である大型杭打機においては、国内市場で100%に近いシェアを誇り、私たちは業界のリーディングカンパニーです。社会インフラの基礎工事では杭の大径化が進む一方、都市再開発では狭隘地での施工や取り壊した建物の基礎を取り除く障害撤去のニーズが高まっています。また、人手不足に対応するための自動化や、脱炭素社会に向けた電動化など、さまざまなニーズに対応していきます。

常務取締役　建設機械本部長　冨田 庸公



## 外部環境認識

建設機械業界において、国内における社会インフラ整備や都市再開発は、当面継続的に進行する見込みであり、市場展望は今後も建設需要を安定して支える底堅い状況であると認識しています。

加えて、深刻化する国内建設業界の労働力不足を背景に、建設機械のさらなる施工効率化や自動化への期待が高まっています。

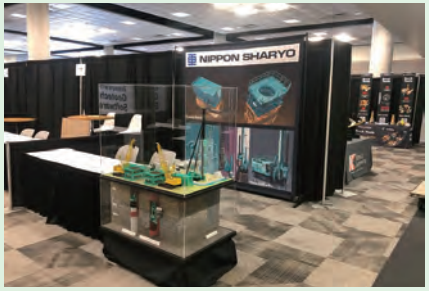
海外では、最大の輸出先であった韓国の市況が低調であり、その背景には大型建設工事の停滞や不安定な政治情勢、金利の上昇などが挙げられます。今年度の建設投資は若干回復する見込みではあるものの、韓国市場に代わる新たな市場の開拓が急務であることから、インフラ投資の増加が期待される米国に支店を開設し、現地における営業活動を進めていきます。

## 今後の戦略

外部環境の変化を踏まえ、持続的成長を実現するための戦略を推進しています。国内市場では、人手不足や生産性向上といった課題に対応するため、ICTやAIを活用した施工支援システムの高度化や自動化に関する開発を進めています。これにより、省人化と作業効率の向上を実現し、お客様の競争力強化に貢献してまいります。また、都市部を中心に高度経済成長期に建設された建築物の老朽化が進み、再開発工事が盛んに行われています。これに伴い、既存基礎や杭などの地中障害物撤去に対する需要が高まっており、こうした分野における製品の提案力を強化し、市場開拓を積極的に進めていきます。

海外市場では、インフラ老朽化に伴う更新需要の高まりが期待される米国を重要市場と位置づけ、段階的な事業展開を図っています。2026年2月にはボストンに支店を開設し、現地における情報収集及び顧客対応体制を強化しました。今後は、市場ニーズの把握と当社の基礎機械を使った工法普及活動を進め、着実な事業基盤の構築を目指します。また台湾についても、先端産業を支えるインフラ整備や工場建設などの需要拡大が見込まれることから、事業機会の創出に向けて、当社製品の提案と営業活動を進めていきます。

技術開発においては、電動杭打機の開発により排出ガスの削減に貢献するほか、施工データ・稼働データの収集システムを開発して、機体状況の見える化と故障による機械のダウンタイム低減を図ります。これらの製品やサービスを提供することで、社会的な要請に応えるだけでなく、新たなビジネスチャンスの創出にもつなげていきます。



展示会の様子


低空頭障害撤去機DHR70-8LH


ICT等を活用した技術開発のイメージ